

強い風や大雨による災害が起こるときのリスクシナリオ

じかん
時間

にちまえ
3日前

にちまえ
1日前

にちまえ
12時間前

にちまえ
6時間前

さいがい
災害が
起こる

にち
1日後

にち
3日後

しゅうかん
1週間後

雨・風・川の様子

雨の降り方

1時間に10～20mmの雨



1時間に20～50mmの雨



1時間に50mmより多い雨



風の吹き方

風の速さの平均15～20m/s



風の速さの平均20～25m/s



風の速さの平均25m/sより強い



強い風が吹く様子

▼一番強い風の速さ

30～40m/s



窓ガラスや屋根が壊れます。

▼一番強い風の速さ

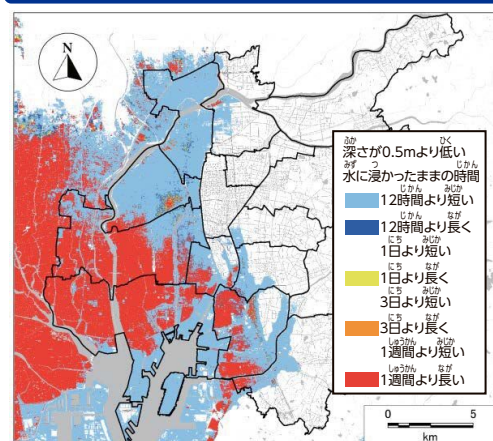
40～60m/s



屋根が飛ばされてなくなり
ます。木で作った家の壁が壊
れたり、家が倒れたりします。
一瞬の強い風で建物が大き
く壊れるかもしれません。

一番強い風の速さ:
3秒間の風の速さの平均値

海の水が高くなり水に浸かったままになる



▼海や川の近くが水に浸かったままになります。

天気の情報／災害の情報

▼台風予報発表

補足説明 台風の進み方や強さのお知らせ

▼レベル3警報(高潮)

補足説明 海の水が高くなり、家や道路に水が流れてくるかもしれないので気をつけましょうというお知らせ

補足説明 海の水が高くなり、家や道路に水が流れてきそうなので気をつけましょうというお知らせ

▼レベル4危険警報(高潮)

▼レベル3警報(大雨・土砂災害)

補足説明 たくさんの雨で家や道路に水があふれたり、山やがけから土がたふさく落ちてくるかもしれないので気をつけましょうというお知らせ

▼暴風域に入る

▼レベル3警報(氾濫)

補足説明 川の水があふれてくるかもしれないので気をつけましょうというお知らせ

▼レベル4危険警報(大雨・氾濫・土砂災害)

補足説明 たくさんの雨で家や道路に水があふれたり、川の水があふれたり、山やがけから土がたふさく落ちてきそうなので気をつけましょうというお知らせ

▼気象防災速報(記録的短時間大雨)

補足説明 何年かに一度しか降らないようなたくさんの雨が短い時間に降っているというお知らせ

▼レベル5特別警報(大雨・氾濫・土砂災害・高潮)

補足説明 たくさんの雨で家や道路に水があふれたり、川の水や海の水があふれたり、山やがけから土がたふさく落ちてくるので、すぐに自分の安全を守りましょうというお知らせ

▼レベル5特別警報からレベル4危険警報へ変わります。

▼レベル4危険警報・レベル3警報・レベル2注意報がなくなります。



名古屋市

▼市民に必ずいる情報をその時々に応じ発信します。



▼しなくてもよいことや急ぎでないことで出かけるのを控えるように呼びかけます。

▼警戒レベル3 高齢者等避難(高潮)

補足説明 年を取った人などは危険なところから逃げなさいという呼びかけ

▼水門を閉めたり、土のうを積み上げたりします。

▼警戒レベル4 避難指示(高潮)

補足説明 危険なところから逃げなさいという指示



▼警戒レベル5 緊急安全確保

補足説明 すぐに自分の安全を守りましょうという指示

▼警戒レベル4 避難指示(氾濫・土砂)

補足説明 危険なところから逃げなさいという指示

▼警戒レベル5 緊急安全確保

補足説明 すぐに自分の安全を守りましょうという指示



▼被害の様子を確認します。

▼災害にあった人を助けて、その人が誰かを確認します。

▼川や海の水を防ぐ壁を直したり、水を外に出したりします。



▼災害で出たゴミの置き場所を決めたり、集めたゴミを処分する場所へ運んだりします。

▼ボランティアを受け入れます。

▼災害にあった人へのいろいろな助けについて情報を知らせます。

▼家の被害を調べることをはじめます。

▼災害にあったことを証明する書類の受付をはじめます。

被害が大きくて、災害にあった人を助けるのに長い時間がかかるかもしれません。

※このシナリオは、台風による1,000年に1度くらいのとて強い風や大雨による災害が起こった場合の被害を想定しています。
シナリオに書いてあることは、風や雨によるいろいろな災害の例であり、実際に起こる状況とは違うかもしれません。

じかん
時間

にちまえ
3日前

にちまえ
1日前

かぜ
風の速さの
平均
10m/s
1時間に
降る雨の量
10mmくらい

じかんまえ
12時間前

かぜ
風の速さの
平均
10～25m/s
1時間に
降る雨の量
30mmくらい

にちまえ
6時間前

かぜ
風の速さの
平均
25～50m/s
1時間に
降る雨の量
50mmくらい

さいがい
災害が
起こる

かぜ
風の速さの
平均
50m/sくらい
1時間に
降る雨の量
150mmくらい

にちご
1日後

にちご
3日後

しゅうかんご
1週間後

緊急避難場所／避難所

補足説明 いのち まも 命を守るために災害の危険からすぐに逃げる場所

補足説明 じぶん いえ さいがい 自分(自分)の家が災害にあつて帰れない場合、しばらくの間、生活するところ

▼緊急避難場所が開きます。(早めに避難する人を受け入れます。)

▼緊急避難場所が開きます。(避難するための情報を聞いた人が避難します。)



■避難場所がとて混むかもしれません。



《雨で川や下水道があふれます。海の水が町に入ってきます。山やげから石や土がたくさん落ちてきます。》



- 逃げ遅れると家の中に水が入ってきたり、石や土がたくさん落ちてきたりして被害を受けるかもしれません。
- 町の中に水が入ってきたところやその近くで水道、電気、ガスなどが使えなくなるかもしれません。
- スマートフォンなどが使えず、助けを求めることができないかもしれません。

- 被害の少ないところに災害にあつた人がたくさん集まります。
- 電気が止まったところでは、テレビで情報を見たり、明かりやエアコンを使ったりできません。



- エアコンが使えないので、暑くて体が悪くなるかもしれません。
- 慣れない生活で、年を取った人が病気になる。病気の人は病気が悪くなります。



- 水が足りなかったり、長い間動かないでいたりするため、血が固まって病気になる。
- 避難した人がたくさんいて、物が足りなくなります。

- プライバシーやペットなどの生活のルールでトラブルが増えます。



自分の家

▼テレビなどで台風の情報が流れます。



▼市からの高齢者等避難(テレビ、ラジオ、ホームページ、SNS、緊急速報メール、防災スピーカー、広報車)(高潮)

補足説明 さいがい じょうほう 災害の情報をすぐに知らせるメール

補足説明 さいがい じょうほう 災害の情報をすぐに知らせるメール

▼市からの避難指示(高潮)

- 渦を巻くような強い風で窓ガラスや屋根が壊れます。
- 歩けないほどの強い風と飛んでくる物で避難が難しくなります。
- 風の影響で電気が止まったり、電話やインターネットがつかなくなったりします。

- 山やげから石や土がたくさん落ちてくる危険が高くなります。
- ため池(普段水をためてある池)が壊れるかもしれません。

▼市からの避難指示(氾濫・土砂)

- 避難するのが遅くなると、他の場所へ行く途中で災害にあうかもしれません。

《雨で川や下水道があふれます。海の水が町に入ってきます。山やげから石や土がたくさん落ちてきます。》

- 強い風で移動が難しいままです。
- 町の中に水が入ったところでは、町が水に浸かったままです。



- 水道、電気、ガスなどが使えません。暑さで体が悪くなったり、動かない生活で体が弱くなったりする人が増えます。

- マンションの中に水が入ったことや電気が止まることで、マンションのエレベーターが使えなくなります。

- 長い間町の中に水が入ったままのところでは、家の外に出られません。上の階に避難した人も物が足りなくなります。

- 水に浸かったままの状態が長く続くと、自分の家で生活できない人が、避難所へ行きます。

- 水が入ってこわれた電気器具に電気が通って火事が起こるかもしれません。

- 被害が大きくて、助けてもらえないかもしれません。

避難したところでの生活が長くなると、周りをきれいにできなくなり、うつる病気が広がるかもしれません。心の疲れなど

